

あべこういち 県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

森田知事の政治姿勢を検証

12月県議会自民党代表質問 災害対応の遅れを厳しく指摘

自民党県議団は、9月9日未明に千葉市を直撃した台風15号による県内全域での甚大な被害に対し、12月定例議会の冒頭で、森田知事並びに県執行部に對し、党としての代表質問を行い、その中で台風等の初動対応の遅れについて率直にお尋ねしました。そこで、県民の皆さまに

議会での代表質問並びに執行部の答弁を、ありのままにご報告させていただきます。

我々議会としても、このたびの台風等の被害を重く受け止め、今後、執行部と連携をとって被災者の方々が、出来る限り早く元の生活に戻れますよう努力してまいります。

災害対策本部立ち遅れ

自民党代表 知事の政治姿勢について伺います。

なぜ9月9日に災害対策本部を設置しなかったのか。

高橋副知事 9日夕方時点で、市町村からの報告で

は、死者や行方不明者がなく、家屋被害も200棟程度で、そのほとんどが一部損壊であったため、災害対策本部設置の認識に至りませんでした。



8時から10日午前4時までの間は、何をしていたのか。

高橋副知事 県では、広域での断水と県内拠点病院での水と電力の供給不足に對して、9日午後8時ごろから、関係課との協議を踏まえ自衛隊に対する災害派遣要請の検討・調整を始めるところです。

派遣要請に先立ち、災害拠点病院等の必要水量などの把握、自衛隊が給水作業を行う際に必要な給水ポイントの指定などの具体的な調整が整った結果、10日午前4時に災害派遣要請を行いました。

知事の私的な視察

自民党代表 平時では、状況に応じて公的視察や私的視察というのとはあると思うが、大規模災害時にお

自民党代表 平時では、状況に応じて公的視察や私的視察というのとはあると思うが、大規模災害時にお

も責任の一端があったものと認識しております。今後、今回のことを教訓として、県の防災・減災対策に更に取り組んでまいりますことをお誓い申し上げます。

阿部 紘一

12月県議会を終えて

県民の皆様への命や人権をお守りすることは、森田知事同様、議会を構成する議員にとっても共通かつ重要な責務であります。そのことから、議員に

は、公的な視察により、応急対応を行っている現場への負担が生じる恐れがあると考えたため、私用車による視察を行ったところです。

今後、災害時などの非常事態における視察については、公務優先の原則のもと、検証会議の指摘も踏まえ、対応してまいります。

自民党代表 災害対策本部の設置の直後において、視察とはいえ、私的な理由で県庁や知事公舎から離れることは、災害対策本部長である知事として、県民からの非難は免れないのではないかと。

森田知事 災害対策本部長である私が、本部設置の直後に、県庁や公舎を離れ、私用車による視察を行ったことに対するご批判を重く受け止めています。

県民に深くお詫び

自民党代表 知事は、台風15号を振り返り、当時及びその後の言動をどう思っているのか。

森田知事 今思えば、被害想定の見立てを誤ったことが、本部立ち上げなどの遅れ、また、その後の私自身の行動につながり、結果として、県民の信頼を損ねてしまったことは、誠に痛恨の極みと言わざるを得ません。私としては、ご批判を重く受け止め、県民の皆さまに深くお詫び申し上げます。今回のことを教訓として、県民の信頼を1日も早く取り戻すべく、的確な初

今後の課題

自民党代表 災害対応の課題について、自民党や検証会議でさまざまに指摘されているが、組織としてはどのように受け止めているのか。

高橋副知事 今後は、防災危機管理部をはじめ、県庁全体で災害に対する危機意識を共有し、計画やマニュアル等を確認点検・見直し、訓練の充実を行い、災害に対し適切に対応してまいります。

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

あべこういち 県事務所
 〒263-0043 TEL.043-287-8595
 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX.043-285-2192

復旧・復興に議会、執行部一丸で!!

補正予算で被災者支援を要請

知事の政治責任は

自民党代表 今回の件について、知事は政治的・道義的責任をどのように考えているのか。

森田知事 災害発生後の私の行動につきましては、知事には災害の時、あらゆる事態を想定し、リーダーシップを発揮して対応に当たってほしいという県民の期待や、信頼を損ねるものであったと思っており、まさに痛恨の極みであり、深くお詫び申し上げます。

そこで、私は自らを戒め、律する意味で、給料を減額するとともに、それに応じた期末手当の減額を自らに課したいと考えております。いずれにいたしましても、3カ月たった今も、被災者被災地は大変不安で、また苦しんでおります。私たちは1日でも早く、復旧・復興に向けて、律して、全身上霊でこれからもしっかりと当たってまいります。よろしくお願いします。

補正予算の編成方針

自民党代表 甚大な台風等の被害を踏まえ、令和元年度の12月補正予算は、どのような点を重視して編成したのか。また、財源をどのように確保したのか。

森田知事 私としては、被災された方々が、1日も早く元の生活に戻り、安心して暮らしてほしい。そして「千葉に住んでよかった」「農業や経営をあきらめず」に続けてよかった」と感じて

ドローンは、災害情報を収集するための有効な手段の一つであることから、さらなる利用拡大に向けて検討してまいります。

また、財源については、主に国庫補助金のほか、災害時の備えとしてこれまで積み立ててきた災害復興・地域再生基金をほぼ使い切ることで何とか確保しましたが、今後、国に対し、特別交付税措置等についても要望してまいりたいと考えています。

15号の反省踏まえ

自民党代表 台風15号での反省点を踏まえて、19号や10月25日の大雨に対応したのか。

高橋副知事 台風15号の反省点を踏まえて、台風19号及び10月25日の大雨においては、早い段階で本庁及び

地域振興事務所の職員を市町村に情報連絡員として派遣し、被害情報やニーズの早期把握に努めたほか、県の保有する備蓄物資の品目や在庫数量、仕様などを市町村に提供し、物資の更なる活用が図られたところです。

ドローン活用を検討

自民党代表 台風通過直後において、数字上で正確に把握できなかったとしても、直接目視で把握することが可能であり、その意味では、迅速に広範囲の被害状況を把握できるヘリコプターを用いた情報収集は非

常に有効です。そして、この点では最新技術を用いたドローンの活用も注目すべきです。今後、被災情報の収集にドローンを活用するなど検討すべきではないか。

高橋副知事 今回の災害



台風19号に備え屋根の修復を急ぐ(千葉市内で9月17日)

被災者の生活再建第一に

延べ8千人の職員派遣

自民党代表 市町村への人的支援はどのように取り組んでいくのか。

高橋副知事 台風や大雨により大きな被害を受けた市町村を支援するため、これまで各種要請に応じて、延べ8千人を超える県職員を派遣したほか、県内市町村や県外自治体からもさまざまな枠組みにより、短期的な人的支援

が行われてきたところです。県としては、現在も継続している応急対応業務や申請の集中が見込まれる被災住宅修繕緊急支援事業に係る窓口業務等に対して、引き続き短期的な職員派遣による支援を行ってまいります。

また、派遣の必要性が高い業務に対しては、中長期の職員派遣を行ってまいります。

全壊住宅に300万円

自民党代表 復旧・復興に向けて、被災者生活再建支援法による支援はどのように進んでいるのか。

高橋副知事 県内では、一連の災害により、100世帯以上の住宅が全壊したことにより、県内全域に法の適用を決定し、住宅が全壊した世帯で、速やかに支援を受けられるよう、10月上旬に市町村担当者向け説明会を開催し、制度の周知に努めているところです。

災害廃棄物は39万トン

自民党代表 災害廃棄物の処理について、今後どのように市町村を支援していくのか。

滝川副知事 県と市町村との役割分担や、廃棄物の種類別の処理方法、基本的な処理スケジュールなどを示した「千葉県災害廃棄物処理実行計画」を策定し、災害廃棄物発生量を約39万トンと推計し、令和3年末までの処理を目標としました。

今後は、この計画に基づき、市町村の災害廃棄物処理実行計画の策定、国庫補助金申請や損壊家屋の撤去に係る事務の支援を行うなど、災害廃棄物の処理が適正かつ円滑迅速に行われるよう、市町村の要望を踏まえながら支援してまいります。



県職員と協議する阿部県議